



逆瀬川あゆみ保育園 子育て支援すくすく

本号由香 2026.3.4

皆さん、絵本は好きですか？絵本には沢山の魅力が詰まっています。今年度は、絵本に関する書籍を活用しながら《絵本について》ちょこっとお伝えしていきたいと思います。



## 『たんぽぽ たんぽぽ』

みなみじゅんこ作/アリス館

『たんぽぽ たんぽぽ』のわらべ歌の絵本です。たんぽぽのわたげを、ふう～とするとお山に飛んでいく、という繰り返しの内容と、可愛い絵と相まってほっこりします。最後に「はるですよー」と言葉があり、何だか嬉しい気持ちになります。楽譜も載っていますので、参考になりますよ。



## 『もふっ』

ふじいともみ作/アリス館

ねこやうさぎ、らっこなど、ふわふわな動物たちが、くっついて“もふっ”となります。どの動物の“もふっ”もふわふわで気持ちよさそうで癒されますよ。ただ、ペンギンのもふっ、は…少し、驚くかもしれません。最後のページのみんなの笑顔は、こちらと一緒に笑顔になります。

【子どもが同じ絵本を繰り返し求めるのは“すでに知っているものとまた出会いたがっている為”です。同じ物と出会う事、それは心の安定に必要なことです。また、同じ絵本をみているようでも、毎回発見があり、その質は違うものとなっています。】

～『小澤昔ばなし研究所』の設立者である、小澤俊夫氏の言葉を抜粋～

当たり前ですが、絵本はいつも同じでいてくれます。だから、毎回自分の思う通りに進み「ほら、やっぱりそうだった」と、思うことができ、それが安心へ繋がるのですね。また、同じ絵本の中にも発見があり、どんどんその楽しさを深めていく、というのも子どもの姿から納得できます。個人的には、大人になると何かが変わるのか、子どもの頃ほどは、絵本に入り込めない気がします。（一方で大人ならではの楽しみ方、感じ方は出来るようになりますが…。）そういう意味では、子どもが求める“繰り返しの時期”は、とても貴重な時期だと思います。その貴重な時期を大事にするのは、大人の役目です。また、役目といいつつも、子どもと一緒に絵本を楽しむ中で、大人も絵本の世界に癒されることになると思います。

